

市 場 概 要

(本場・東部市場・南港市場)

令和5（2023）年4月

大阪中央卸売市場



目 次

はじめに	1
大阪市中央卸売市場所在地見取図	2
<本場及び東部市場>	
1 市場の沿革	3
2 市場の施設	6
3 取扱品目	7
4 市場の機構	7
5 取扱数量及び金額	9
6 年次別取扱高	15
7 取扱品搬出状況	18
8 種類・業務形態別搬出量割合表	22
9 入出場調査	23
<南港市場>	
1 市場の沿革	24
2 市場の施設	24
3 取扱品目	25
4 市場の機構	25
5 取扱数量及び金額	27
6 年次別取扱高	29
7 入出場調査	30
<参 考 資 料>	
市場の事務機構	31
各市場施設平面図	
・ 本 場	32
・ 東部市場	33
・ 南港市場	34
市場の年表	35

はじめに

中央卸売市場は、私たちの日常生活に欠くことのできない野菜、果実、水産物、食肉類など生鮮食料品等について、産地からの計画的な集荷に努め、公正な価格形成を行い、市民・消費者に安定して供給するという生鮮食料品流通において中心的な役割を担っています。

その中央卸売市場は、市場の適正な運営を図るために制定された卸売市場法（昭和 46 年 4 月中央卸売市場法を改め）に基づき、農林水産大臣の認定を受けて開設・管理運営をしているものであり、生鮮食料品の基幹的流通機構として、集荷機能、分荷機能、価格形成機能、決済機能、情報機能の 5 つの役割を持っています。

令和 5 年 4 月現在、中央卸売市場は、全国で 65 市場（40 都市）開設されていますが、本市では、野菜、果実、水産物などを取り扱う **本場** 及び **東部市場**、食肉を取り扱う **南港市場** の 3 市場を開設し、安全・安心な生鮮食料品等を供給して市民等消費者の食生活の安定、向上に努めています。

大阪市中央卸売市場所在地見取図

本 場 福島区野田 1 丁目 1 番 86 号 TEL 06-6469-7955 FAX 06-6469-7979
 東部市場 東住吉区今林 1 丁目 2 番 68 号 TEL 06-6756-3901 FAX 06-6756-3905
 南港市場 住之江区南港南 5 丁目 2 番 48 号 TEL 06-6675-2010 FAX 06-6675-2029

<https://www.city.osaka.lg.jp/shijo/index.html>

本 場 Central Wholesale Market (Honjo)



〒553-0005 大阪市福島区野田1-1-86

☎(06) 6469-7955 ㊟(06) 6469-7979

交通/JR大阪環状線「野田」

またはOsaka Metro 千日前線「玉川」下車、徒歩約10分

京阪電車中之島線「中之島」下車、徒歩約15分

南港市場 South Port Wholesale Market (Nanko)



〒559-0032 大阪市住之江区南港南5-2-48

☎(06) 6675-2010 ㊟(06) 6675-2029

交通/ Osaka Metro ニュートラム「フェリーターミナル」駅
 下車後、シティバス15号系統(南港南六丁目行き)へ乗り継ぎ、
 「南港南四丁目」停留所下車、徒歩約5分



東部市場 East Wholesale Market (Tobu)



〒546-0001 大阪市東住吉区今林1-2-68

☎(06) 6756-3901 ㊟(06) 6756-3905

交通/JR関西本線(大和路線)「東部市場前」下車、徒歩約5分
 シティバス「今林東部市場前」下車、すぐ

本場及び東部市場

1 市場の沿革

生鮮食料品の市場が形成されたのは、豊臣秀吉が大坂城を築城した頃からであり、それ以来発展し、昭和の初期まで盛況を呈した大阪の名高い市場として、天満、ざこば、靱（うつぼ）、木津、難波などがありました。

第一次大戦が終わった大正 7 年頃は、経済情勢が不安定であったため、物価への影響を危惧した大阪市は、大正 7 年 4 月に公設小売市場を設置し、日用品の廉売と物価の安定を図りました。同年 7 月に起きた「米騒動」は、国民の食生活に影響が多かったことから、国においてもその対策を検討することとなり、本市の公設小売市場の設置に刺激され、生鮮食料品の取引の正常化、適正な価格形成を目的として、大正 12 年 3 月に中央卸売市場法が制定されました。

本市においても、市民の食生活安定のために公設小売市場の親市場として、中央卸売市場の開設が必要であると判断し、調査委員会等を設置し検討を重ねました。その結果、水陸運ともに至便な福島区野田を最適地として決定し、全国に先がけて大正 14 年 3 月に国の認可を得て着工し、当時東洋一を誇る堂々たる総合市場として、昭和 6 年 11 月 11 日に現在の中央卸売市場（本場）が敷地面積約 126,000 m²で開場しました。この開場と同時に従来から繁栄していた私設卸売市場については、ほとんどが中央卸売市場に吸収され、開場後 1 年間（昭和 7 年）の取扱量は 39 万トンに達しました。

また、第二次大戦終戦直後の統制中は、生鮮食料品の集荷配給機関として本来の市場機能を一次中断しましたが、統制の解除とともに、昭和 25 年 5 月から仲買制度の復活など再び本来の市場の姿に戻り、取扱量も 45 万トンまで回復しました。

一方、戦後の市内人口の回復とともに、周辺都市、近隣府県の人口も伸び、消費が激増し、大阪市内を対象とした消費市場であったものが、いわゆる集散市場の性格も色濃く併せ持つようになり、取扱量は毎年増加の一途をたどっていきましました。それとともに輸送手段の大型化・高速化が急速に進み、市場施設が狭あい・過密となり、その打開策として昭和 29 年 1 月、市東南部にあたる東住吉区今林に第 2 中央卸売市場（東部市場）の建設計画を立て、敷地面積 83,000 m²で、

昭和 33 年 11 月より着工しました。建設にあたって、用地買収その他多くの課題がありましたが、昭和 39 年 11 月 20 日に施設が完成し、11 月 25 日より業務を開始しました。

昭和 39 年には、本場の取扱量も開場当時の 2 倍強の 82 万トンを超え、その後も毎年 1 割近くの増加を示し、昭和 45 年に 120 万トンに達したことから、取扱量の増加や自動車輸送の激増に対処し、また、老朽施設の改善と過密・狭あい化打開のため、拡張整備事業(現在の市場西棟)を実施し、昭和 50 年 11 月に果実・乾物等の部門を、昭和 51 年 2 月に漬物売場をそれぞれ移転しました。

しかし、本場開場から 60 年余りを経て、施設の老朽化が著しく、耐震構造の施設への建替えや、生鮮食料品等にかかる流通環境の変化や多種多様な消費者ニーズ、情報化の進展への対応が求められていたことから、食品流通の基幹的役割を充分果たすことができる機能を有するとともに、環境対策や衛生面に配慮した廃棄物の処理施設等を備えた近代的な市場を目指し、平成元年度より抜本的な施設整備事業に着手しました。平成 4 年 9 月に業務管理棟が完成し、その後引続き市場棟（現在の市場東棟）及び関連棟の工事を進め、足掛け 10 年に及んだ現地建替が平成 14 年 11 月に完成しました。さらに、物流機能の強化を図るため、平成 15 年 6 月から配送加工棟の整備に着工し、平成 16 年 7 月に完成しました。

また、コールドチェーンの確保やHACCP対応の保冷库・加工場が求められていたことから、令和 2 年度から業務管理棟北側の整備に着手し、令和 5 年 2 月に買荷積込所が完成しました。

東部市場においては、その後、取扱量の増加に伴い昭和 52 年 12 月に施設の拡張を行い、加工食料品売場を移転し、引き続き昭和 53 年度から、仲卸売場棟の全面改築工事を実施し、昭和 56 年 3 月に完成しました。さらに、平成 12 年 3 月に流通の効率化を図るために、加工機能と配送機能を一体化した配送加工センターを新設しました。

しかし、開設から 40 年以上経過し、施設の老朽化が著しく、機能的にも様々な課題が生じてきたことから、これらの解消を図るとともに、今後ますます激しさを増すと予想される市場間競争に対応できる基盤整備が必要なため、「効率的な物流の創出」と「食の安全・安心への対応」をコンセプトとして、市場機能の向上と競争力強化につながる整備をめざし、平成 20 年 10 月、再整備事業に着手し、平成 24 年 4 月から一層機能的で使いやすい市場として生まれ変わりました。

た。今回の再整備事業では、青果卸売場棟の建替え、冷蔵庫棟及び関連棟の建替え再配置を行い、産地トラックの大型化に対応した荷受作業の円滑化、場内の車輛通行の改善策を講じるとともに、量販店等との取引にかかる荷さばき・出荷作業を円滑に行うための荷さばき出荷ゾーンも新たに設置しました。また、水産卸売場を全面低温化するなど、品質鮮度を保つための低温卸売場を拡大したほか、ごみドラムの新規導入により衛生面の強化を行いました。さらに、買出人駐車場には、雨や日差しを防ぐ大屋根を設置し、市場関係者への利便性の向上を図りました。

2 市場の施設

(1)本 場

位 置 大阪市福島区野田1丁目1番86号

面 積 敷 地 177,955 m²

建面積 99,710 m² 延面積 314,215 m²

(2)東 部 市 場

位 置 大阪市東住吉区今林1丁目2番68号

面 積 敷 地 105,615 m²

建面積 64,581 m² 延面積 167,895 m²

3 取扱品目

本場、東部市場は総合市場として次の生鮮食料品等を取り扱っています。

<本場>

- | | |
|-----------|---|
| (1) 青 果 | 野菜、果実及びこれらの加工品、冷凍食品（鳥肉以外の肉類に係るものを除く。） |
| (2) 水 産 物 | 生鮮水産品及びその加工品、魚肉入加工品、冷凍食品（鳥肉以外の肉類に係るものを除く。） |
| (3) 加工食料品 | 漬物、みそ、乾物及びこれに準ずる加工品、魚肉入加工品、冷凍食品（鳥肉以外の肉類に係るものを除く。） |

<東部市場>

- | | |
|-----------|--|
| (1) 青 果 | 野菜、果実及びこれらの加工品、冷凍食品（鳥肉以外の肉類に係るものを除く。） |
| (2) 水 産 物 | 生鮮水産品及びその加工品、魚肉入加工品、冷凍食品（鳥肉以外の肉類に係るものを除く。） |

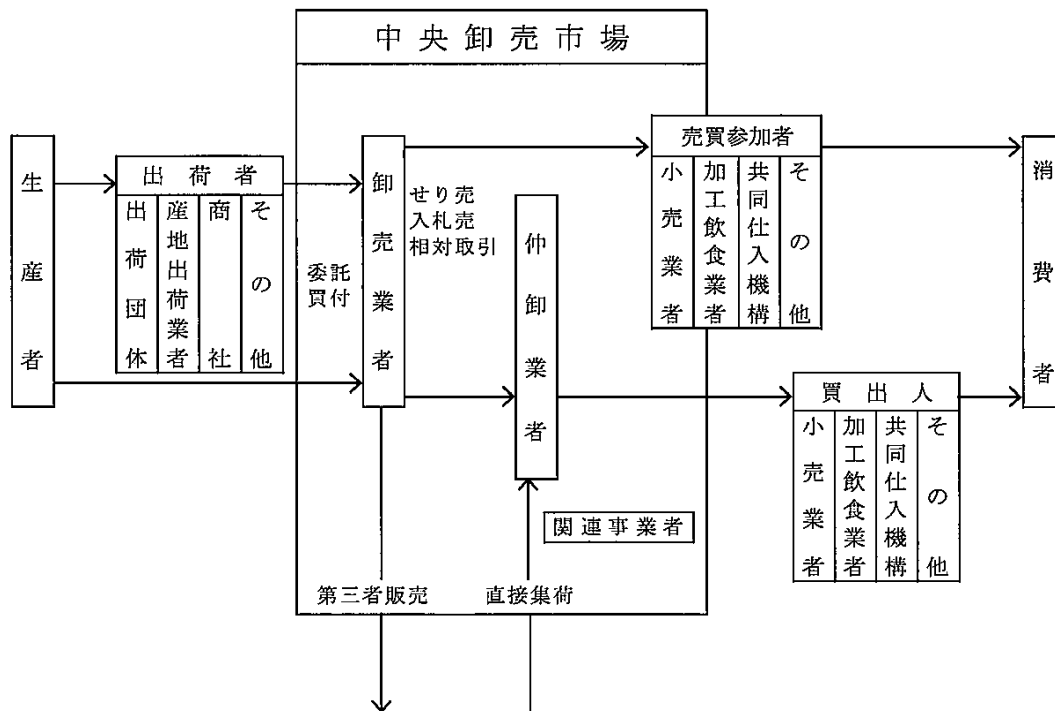
4 市場の機構

市場の機構及び業務運営は、すべて卸売市場法、同法施行規則、大阪市中心卸売市場業務条例及び同条例施行規則に基づいています。市場機構の主たるものは次のとおりです。

なお、開設者は大阪市中で、市場施設の維持管理と業務運営の指導監督にあたっています。

- | | |
|-------------|---|
| (1) 卸 売 業 者 | 市長の許可を受け、出荷者から生鮮食料品等の販売の委託を受け又は買い受けて、せり売、入札又は相対取引によって仲卸業者及び売買参加者等に販売する者。 |
| (2) 仲 卸 業 者 | 市長の認定を受けて、市場内に設置する店舗において、卸売業者から卸売を受けた生鮮食料品等を仕分けし、または調製して小売業商、その他の買出人に販売する者。 |
| (3) 売買参加者 | 仲卸業者でない者で、市長の認定により、せり又は入札に参加して卸売業者から卸売を受けることができ、直接消費者に販売することを業務とする大口需要者等。 |
| (4) 関連事業者 | 市長の承認を受けて、市場において市場機能の充実に資する業務または市場の利用者に便益を提供する業務を市場内において行う者。現在承認している者は本場で 103 業者、東部市場で 38 業者。 |

(5) 取引の経路



(6) 卸売業者数、仲卸業者数及び売買参加者数

(令和5年4月1日現在)

種 類		本 場			東 部 市 場		
		卸売業者	仲卸業者	売買参加者	卸売業者	仲卸業者	売買参加者
青 果	野 菜	2	66	2	1	17	18
	果 実		39			4	
	計	2	105	2	1	21	18
水産物	生鮮水産物	2	94	5	2	35	2
	加工水産物		46			22	
	計	2	140	5	2	57	2
加工食料品	漬 物	1	2	0	－	－	－
	乾 物	1	1	0	－	－	－
	計	2	3	0	－	－	－
合 計		6	248	7	3	78	20

5 取扱数量及び金額

(1) 令和4年中取扱高（開場日数253日）

① 本場・東部市場合計

種 類 別		1 日 平 均		1 年 間	
		数 量	金 額	数 量	金 額
青 果	野 菜	1,878	446,398	475,107	112,938,589
	果 実	771	363,199	195,133	91,889,269
	計	2,649	809,596	670,240	204,827,858
水 産 物	生 鮮 水 産 物	206	250,185	52,222	63,296,695
	冷 凍 水 産 物	68	108,103	17,198	27,350,055
	加 工 水 産 物	135	183,003	34,029	46,299,729
	そ の 他	17	12,236	4,202	3,095,732
	計	425	553,527	107,651	140,042,210
加食 料 工品	つ け 物	1	571	253	144,436
	乾 物	7	10,654	1,660	2,695,573
	計	8	11,225	1,913	2,840,009
合 計		3,082	1,374,348	779,804	347,710,077

※項目別四捨五入のため合計と一致しないことがある。

※その他には魚肉入加工品と冷凍食品が含まれる。

② 本場・東部市場の比率

種 類 別		数 量		金 額	
		本 場	東部市場	本 場	東部市場
青 果	野 菜	78	22	81	19
	果 実	70	30	76	24
	計	76	24	79	21
水 産 物	生 鮮 水 産 物	77	23	74	26
	冷 凍 水 産 物	63	37	62	38
	加 工 水 産 物	57	43	60	40
	そ の 他	57	43	51	49
	計	68	32	67	33
加食 料 工品	つ け 物	100	—	100	—
	乾 物	100	—	100	—
	計	100	—	100	—
合 計		75	25	74	26

※項目別四捨五入のため合計と一致しないことがある。

※その他には魚肉入加工品と冷凍食品が含まれる。

③ 本 場

種 類 別		1 日 平 均		1 年 間	
		数 量	金 額	数 量	金 額
青 果	野 菜	1,466 ^{トン}	360,474 ^{千円}	370,892 ^{トン}	91,199,965 ^{千円}
	果 実	537	276,547	135,825	69,966,278
	計	2,003	637,021	506,718	161,166,244
水 産 物	生 鮮 水 産 物	158	185,697	40,094	46,981,324
	冷 凍 水 産 物	43	66,756	10,879	16,889,142
	加 工 水 産 物	76	110,095	19,345	27,853,919
	そ の 他	10	6,246	2,407	1,580,142
	計	287	368,793	72,725	93,304,528
加食 料 工品	つ け 物	1	571	253	144,436
	乾 物	7	10,654	1,660	2,695,573
	計	8	11,225	1,913	2,840,009
合 計		2,298	1,017,039	581,356	257,310,780

※項目別四捨五入のため合計と一致しないことがある。

※その他には魚肉入加工品と冷凍食品が含まれる。

④ 東 部 市 場

種 類 別		1 日 平 均		1 年 間	
		数 量	金 額	数 量	金 額
青 果	野 菜	412 ^{トン}	85,923 ^{千円}	104,215 ^{トン}	21,738,623 ^{千円}
	果 実	234	86,652	59,308	21,922,991
	計	646	172,576	163,523	43,661,614
水 産 物	生 鮮 水 産 物	48	64,488	12,128	16,315,371
	冷 凍 水 産 物	25	41,347	6,319	10,460,912
	加 工 水 産 物	58	72,908	14,683	18,445,810
	そ の 他	7	5,990	1,795	1,515,590
	計	138	184,734	34,925	46,737,683
合 計		784	357,309	198,448	90,399,297

※項目別四捨五入のため合計と一致しないことがある。

※その他には魚肉入加工品と冷凍食品が含まれる。

(2) 主要産地別取扱量

(青 果)

① 本 場

種類 別 順位	青			果		
	野 菜			果 実		
	産 地	取扱数量 トン	前年比 %	産 地	取扱数量 トン	前年比 %
1	北 海 道	69,548	92	和 歌 山 県	25,284	102
2	長 野 県	38,096	99	青 森 県	22,467	90
3	兵 庫 県	25,477	94	フィリピン	8,739	89
4	長 崎 県	25,457	104	長 野 県	8,414	123
5	茨 城 県	21,671	99	熊 本 県	5,769	95
6	熊 本 県	20,551	101	鳥 取 県	4,657	117
7	愛 知 県	19,672	101	愛 媛 県	4,435	96
8	徳 島 県	17,408	97	長 崎 県	4,215	106
9	群 馬 県	14,845	99	山 梨 県	4,173	98
10	鹿 児 島 県	12,514	111	ア メ リ カ	3,712	64

② 東 部 市 場

種類 別 順位	青			果		
	野 菜			果 実		
	産 地	取扱数量 トン	前年比 %	産 地	取扱数量 トン	前年比 %
1	北 海 道	15,222	86	フィリピン	25,807	95
2	長 野 県	13,758	92	ニュージーランド	4,442	106
3	愛 知 県	9,836	93	青 森 県	4,195	84
4	長 崎 県	6,445	81	和 歌 山 県	3,913	93
5	茨 城 県	5,964	107	熊 本 県	2,294	81
6	鹿 児 島 県	5,549	95	ア メ リ カ	2,283	68
7	徳 島 県	5,322	91	長 崎 県	1,914	106
8	群 馬 県	4,753	102	愛 媛 県	1,410	90
9	兵 庫 県	4,381	69	チ リ	1,334	113
10	大 阪 府	3,175	94	メ キ シ コ	1,046	72

(水産物)

① 本 場

種類 別 順位	水 産 物								
	生 鮮 水 産 物			冷 凍 水 産 物			加 工 水 産 物		
	産 地	取扱数量 トン	前年比 %	産 地	取扱数量 トン	前年比 %	産 地	取扱数量 トン	前年比 %
1	長 崎 県	4,480	97	ロ シ ア	860	79	兵 庫 県	1,683	86
2	北 海 道	3,640	90	チ リ	739	48	大 阪 府	1,208	88
3	愛 媛 県	3,200	78	イ ン ド	531	89	中 国	1,149	84
4	宮 城 県	2,160	103	ブ ル ネ イ	514	372	北 海 道	1,132	114
5	高 知 県	2,088	71	ノ ル ウ ェ ー	499	75	チ リ	857	81
6	千 葉 県	1,984	81	静 岡 県	495	97	ロ シ ア	744	81
7	和 歌 山 県	1,825	78	カ ナ ダ	464	123	ア メ リ カ	705	67
8	鳥 取 県	1,739	112	北 海 道	458	86	千 葉 県	621	74
9	兵 庫 県	1,507	110	ア メ リ カ	449	59	京 都 府	541	124
10	三 重 県	1,480	86	韓 国	441	111	愛 知 県	521	92

② 東 部 市 場

種類 別 順位	水 産 物								
	生 鮮 水 産 物			冷 凍 水 産 物			加 工 水 産 物		
	産 地	取扱数量 トン	前年比 %	産 地	取扱数量 トン	前年比 %	産 地	取扱数量 トン	前年比 %
1	長 崎 県	1,461	92	モ ロ ッ コ	1,158	82	大 阪 府	3,438	89
2	愛 媛 県	1,210	77	台 湾	423	77	兵 庫 県	1,964	83
3	北 海 道	978	90	ロ シ ア	391	93	チ リ	1,042	107
4	鹿 児 島 県	613	79	中 国	348	91	ロ シ ア	639	95
5	ノ ル ウ ェ ー	596	54	ノ ル ウ ェ ー	343	144	中 国	626	112
6	和 歌 山 県	565	79	北 海 道	266	89	沖 縄 県	515	111
7	千 葉 県	525	93	イ ン ド	254	121	千 葉 県	496	90
8	高 知 県	493	69	ア メ リ カ	249	86	宮 城 県	408	177
9	鳥 取 県	472	112	ア ルゼンチン	226	117	北 海 道	387	106
10	宮 城 県	368	95	チ リ	187	70	ノ ル ウ ェ ー	332	102

(3) 主要品目別取扱量

(青 果)

① 本 場

種類 別 順位	青			果		
	野 菜		前年比	果 実		前年比
	品 目	取扱数量		品 目	取扱数量	
1	た ま ね ぎ	40,219 ^{トン}	89 [%]	ふ じ	15,450 ^{トン}	92 [%]
2	キ ャ ベ ツ	34,601	95	す い か	12,749	108
3	だ い こ ん	19,528	102	早生温州みかん	5,465	98
4	黄芯はくさい	18,424	105	普通温州みかん	4,751	92
5	ト マ ト	16,903	102	バ ナ ナ	4,072	76
6	白 菜	13,630	92	青 バ ナ ナ	3,480	93
7	人 参	12,234	91	刀 根 早 生 か き	3,260	125
8	胡 瓜	11,571	101	パインアップル	3,083	87
9	洋 に ん じ ん	11,292	99	ジョナゴールド	2,833	86
10	レ タ ス	11,033	95	つ が る	2,612	117

② 東 部 市 場

種類 別 順位	青			果		
	野 菜		前年比	果 実		前年比
	品 目	取扱数量		品 目	取扱数量	
1	青首だいこん	11,898 ^{トン}	90 [%]	バ ナ ナ	23,653 ^{トン}	95 [%]
2	黄芯はくさい	10,893	96	キウイフルーツ	4,389	110
3	た ま ね ぎ	10,062	72	パインアップル	3,549	92
4	キ ャ ベ ツ	10,007	97	ふ じ	2,662	92
5	人 参	5,389	103	レ モ ン	1,787	115
6	レ タ ス	3,680	80	す い か	1,772	106
7	ト マ ト	3,111	94	ネーブルオレンジ	1,487	77
8	白 ね ぎ	3,061	109	早生温州みかん	1,236	100
9	夏秋キャベツ	2,808	85	グレープフルーツ	857	62
10	春 は く さ い	2,234	78	ぶ ど う	855	92

(水産物)

① 本 場

種類 別 順位	水 産 物								
	生 鮮 水 産 物			冷 凍 水 産 物			加 工 水 産 物		
	品 目	取扱数量 ^{トン}	前年比 [%]	品 目	取扱数量 ^{トン}	前年比 [%]	品 目	取扱数量 ^{トン}	前年比 [%]
1	養殖まだい	3,374	77	冷凍えび	1,730	120	塩ぎんざけ	1,379	77
2	さば	3,129	88	冷凍かれい	1,370	100	塩さば	1,045	88
3	養殖ぶり	2,077	67	冷凍ぎんざけ	638	45	蒲焼うなぎ	888	81
4	天然ぶり	1,730	173	冷凍きわだ	608	96	ちりめん	701	72
5	たら	1,425	92	冷凍ずわいがに	495	99	すけそうたら	694	96
6	養殖ほんまぐろ	1,344	95	冷凍めばち	393	119	ちりめん釜あげ	575	75
7	かつお	1,265	78	冷凍たこ	337	47	明太子	534	73
8	あじ	1,228	117	冷凍ほんまぐろ	299	95	茹たこ	453	76
9	天然はまち	998	82	冷凍さわら	262	147	塩かずのこ	202	86
10	かき	971	95	冷凍いか	238	60	開干あじ	193	102

② 東 部 市 場

種類 別 順位	水 産 物								
	生 鮮 水 産 物			冷 凍 水 産 物			加 工 水 産 物		
	品 目	取扱数量 ^{トン}	前年比 [%]	品 目	取扱数量 ^{トン}	前年比 [%]	品 目	取扱数量 ^{トン}	前年比 [%]
1	養殖まだい	1,263	76	冷凍たこ	1,320	80	塩ぎんざけ	1,608	102
2	天然はまち	671	84	冷凍きわだ	495	67	塩さば	548	85
3	さけ	658	62	冷凍えび	409	78	蒲焼うなぎ	519	119
4	天然ぶり	616	204	冷凍ぎんざけ	267	29	かまぼこ	430	98
5	さば	573	90	冷凍めばち	252	89	ちりめん	308	71
6	養殖かんぱち	538	84	冷凍ずわいがに	246	85	明太子	287	87
7	養殖ほんまぐろ	445	85	冷凍するめいか	246	127	塩べにざけ	159	99
8	たら	437	78	冷凍大西洋鯖	233	222	丸干いわし	157	110
9	養殖ぶり	419	74	冷凍あかえび	199	118	塩すけそうこ	151	97
10	まいわし	405	101	冷凍さば	180	134	ちりめん釜あげ	136	89

6 年次別取扱高

① 本場・東部市場合計

(単位 数量：トン
金額：千円)

種類別		年別 区分	平成30年	令和元年	令和2年	令和3年	令和4年
青	野 菜	数 量	500,605	513,676	500,015	493,049	475,107
		金 額	118,566,234	107,822,006	111,591,611	108,007,045	112,938,589
	果 実	数 量	195,702	200,282	192,260	200,966	195,133
		金 額	81,081,807	82,376,253	85,066,569	88,177,583	91,889,269
果	計	数 量	696,307	713,957	692,276	694,016	670,240
		金 額	199,648,041	190,198,259	196,658,180	196,184,627	204,827,858
水 産 物	生 鮮	数 量	66,488	61,687	58,895	58,733	52,222
		金 額	66,288,782	63,942,209	57,009,332	58,954,009	63,296,695
	冷 凍	数 量	25,265	24,261	21,893	20,037	17,198
		金 額	33,805,650	32,056,199	27,439,802	27,121,761	27,350,055
	加 工	数 量	42,563	41,026	40,150	39,480	34,029
		金 額	49,237,356	46,149,889	46,656,195	46,476,545	46,299,729
	その他	数 量	8,021	7,223	6,869	5,518	4,202
		金 額	4,347,507	3,732,726	3,506,607	3,126,943	3,095,732
	計	数 量	142,337	134,196	127,806	123,768	107,651
		金 額	153,679,295	145,881,023	134,611,937	135,679,258	140,042,210
加 工 食 料 品	つけ物	数 量	2,140	1,769	805	238	253
		金 額	911,641	808,633	387,245	134,952	144,436
	乾 物	数 量	1,919	1,846	1,598	1,582	1,660
		金 額	2,933,286	2,923,613	2,505,274	2,542,850	2,695,573
	計	数 量	4,058	3,615	2,404	1,820	1,913
		金 額	3,844,927	3,732,246	2,892,519	2,677,802	2,840,009
合 計	数 量	842,702	851,768	822,486	819,603	779,804	
	金 額	357,172,263	339,811,527	334,162,635	334,541,687	347,710,077	

※項目別四捨五入のため合計と合致しないことがある。

※その他には魚肉入加工品と冷凍食品が含まれる。

② 本 場

(単位 数量：トン
金額：千円)

種類別		年別	平成30年	令和元年	令和2年	令和3年	令和4年
		区分					
青	野 菜	数 量	373,765	385,971	379,809	378,406	370,892
		金 額	92,440,958	84,774,390	88,318,307	86,291,088	91,199,965
	果 実	数 量	136,504	139,573	132,986	137,586	135,825
		金 額	61,898,093	62,692,561	65,086,683	67,161,075	69,966,278
果	計	数 量	510,269	525,544	512,795	515,993	506,718
		金 額	154,339,051	147,466,950	153,404,990	153,452,163	161,166,244
水 産 物	生 鮮	数 量	51,579	47,779	45,021	44,441	40,094
		金 額	50,610,423	49,026,413	42,877,731	43,361,029	46,981,324
	冷 凍	数 量	15,285	14,353	13,081	12,243	10,879
		金 額	19,791,393	18,548,568	15,693,265	15,907,796	16,889,142
	加 工	数 量	26,806	25,173	24,120	23,398	19,345
		金 額	32,805,775	30,670,971	29,770,862	29,137,838	27,853,919
	その他	数 量	5,743	5,545	5,308	4,024	2,407
		金 額	2,413,080	2,303,427	2,269,579	1,915,820	1,580,142
	計	数 量	99,414	92,851	87,530	84,106	72,725
		金 額	105,620,671	100,549,379	90,611,437	90,322,484	93,304,528
加 工 食 料 品	つけ物	数 量	576	441	273	238	253
		金 額	217,898	204,303	154,407	134,952	144,436
	乾 物	数 量	1,919	1,846	1,598	1,582	1,660
		金 額	2,933,286	2,923,613	2,505,274	2,542,850	2,695,573
	計	数 量	2,495	2,287	1,871	1,820	1,913
		金 額	3,151,184	3,127,915	2,659,682	2,677,802	2,840,009
合 計	数 量	612,177	620,683	602,196	601,919	581,356	
	金 額	263,110,906	251,144,245	246,676,108	246,452,449	257,310,780	

※項目別四捨五入のため合計と合致しないことがある。

※その他には魚肉入加工品と冷凍食品が含まれる。

③ 東部市場

(単位 数量：トン
金額：千円)

種類別		年別 区分	平成30年	令和元年	令和2年	令和3年	令和4年
青 果	野 菜	数 量	126,840	127,704	120,207	114,643	104,215
		金 額	26,125,276	23,047,616	23,273,304	21,715,956	21,738,623
	果 実	数 量	59,198	60,709	59,274	63,380	59,308
		金 額	19,183,714	19,683,692	19,979,886	21,016,508	21,922,991
	計	数 量	186,038	188,413	179,481	178,023	163,523
		金 額	45,308,990	42,731,308	43,253,190	42,732,464	43,661,614
水 産 物	生 鮮	数 量	14,909	13,907	13,874	14,292	12,128
		金 額	15,678,360	14,915,796	14,131,601	15,592,980	16,315,371
	冷 凍	数 量	9,980	9,907	8,811	7,794	6,319
		金 額	14,014,256	13,507,631	11,746,537	11,213,965	10,460,912
	加 工	数 量	15,757	15,852	16,030	16,082	14,683
		金 額	16,431,581	15,478,918	16,885,333	17,338,707	18,445,810
	その他	数 量	2,278	1,677	1,562	1,494	1,795
		金 額	1,934,427	1,429,298	1,237,028	1,211,123	1,515,590
	計	数 量	42,923	41,344	40,276	39,662	34,925
		金 額	48,058,624	45,331,644	44,000,500	45,356,774	46,737,683
加 工 食 料 品	つけ物	数 量	1,564	1,328	532	—	—
		金 額	693,743	604,331	232,837	—	—
	乾 物	数 量	—	—	—	—	—
		金 額	—	—	—	—	—
	計	数 量	1,564	1,328	532	—	—
		金 額	693,743	604,331	232,837	—	—
合 計		数 量	230,525	231,085	220,290	217,684	198,448
		金 額	94,061,357	88,667,283	87,486,527	88,089,239	90,399,297

※項目別四捨五入のため合計と合致しないことがある。

※その他には魚肉入加工品と冷凍食品が含まれる。

※東部市場は令和2年6月21日付けで加工食料品部を廃止。

7 取扱品搬出状況（令和4年10月14日調査）

上段：搬出件数及びその構成比　％
 下段：搬出数量kg及びその構成比　％
 （乾物については、金額（千円）表示）

① 地域別搬出量（本場・東部市場計）

種類別 地域別		野 菜		果 実		生鮮水産物		冷凍水産物		加工水産物		つ け 物		合 計		乾 物	
合 計		2,214	100%	1,382	100%	2,009	100%	985	100%	1,319	100%	57	100%	7,966	100%	80	100%
		1,360,461	100%	868,515	100%	164,527	100%	144,015	100%	99,152	100%	1,033	100%	2,637,703	100%	1,856	100%
	供給対象区域内	1,477	67%	828	60%	1,458	73%	730	74%	899	68%	31	54%	5,423	68%	65	81%
		661,733	49%	231,426	27%	74,674	45%	14,403	10%	57,881	58%	805	78%	1,040,922	39%	1,382	74%
	供給対象区域外	737	33%	554	40%	551	27%	255	26%	420	32%	26	46%	2,543	32%	15	19%
		698,728	51%	637,089	73%	89,853	55%	129,612	90%	41,271	42%	228	22%	1,596,781	61%	474	26%
大 阪 市 内		1,074	49%	646	47%	1,086	54%	518	53%	626	47%	24	42%	3,974	50%	56	70%
		486,933	36%	181,148	21%	41,633	25%	10,533	7%	37,538	38%	719	70%	758,504	29%	1,017	55%
大 阪 府 下		623	28%	314	23%	563	28%	329	33%	437	33%	26	46%	2,292	29%	11	14%
		347,798	26%	189,017	22%	52,986	32%	9,181	6%	26,473	27%	210	20%	625,665	24%	441	24%
	※北大阪地域	230	10%	121	9%	188	9%	65	7%	136	10%	4	7%	744	9%	5	6%
		179,571	13%	148,054	17%	10,178	6%	1,431	1%	3,323	3%	17	2%	342,574	13%	245	13%
	※東大阪地域	199	9%	110	8%	196	10%	114	12%	163	12%	20	35%	802	10%	5	6%
		84,379	6%	23,570	3%	26,695	16%	3,468	2%	18,668	19%	124	12%	156,904	6%	180	10%
	※南大阪地域	194	9%	83	6%	179	9%	150	15%	138	10%	2	4%	746	9%	1	1%
		83,848	6%	17,393	2%	16,113	10%	4,282	3%	4,482	5%	69	7%	126,187	5%	16	1%
近 畿 圏		390	18%	289	21%	305	15%	113	11%	199	15%	5	9%	1,301	16%	10	13%
		375,581	28%	279,648	32%	29,256	18%	28,079	19%	11,232	11%	49	5%	723,845	27%	281	15%
そ の 他 県		127	6%	133	10%	55	3%	25	3%	57	4%	2	4%	399	5%	3	4%
		150,149	11%	218,702	25%	40,652	25%	96,222	67%	23,909	24%	55	5%	529,689	20%	117	6%

※北大阪地域～豊中市、吹田市、摂津市、高槻市、茨木市、池田市、箕面市、豊能郡、三島郡

※東大阪地域～東大阪市、八尾市、守口市、大東市、柏原市、門真市、枚方市、寝屋川市、四條畷市、交野市

※南大阪地域～堺市、松原市、羽曳野市、藤井寺市、岸和田市、貝塚市、泉佐野市、和泉市、泉大津市、富田林市、河内長野市、高石市、泉南市、大阪狭山市、
阪南市、南河内郡、泉南郡、泉北郡

※項目ごとの四捨五入のため、合計が100%にならないことがある。また、数量等についても項目ごとの四捨五入のため、合計と一致しないことがある。

上段：搬出件数及びその構成比 %
 下段：搬出数量kg及びその構成比 %
 （乾物については、金額（千円）表示）

② 地域別搬出量（本 場）

種類別 地域別		野 菜		果 実		生鮮水産物		冷凍水産物		加工水産物		つ け 物		合 計		乾 物	
合 計		1,651	100%	1,175	100%	1,401	100%	521	100%	642	100%	57	100%	5,447	100%	80	100%
		1,024,299	100%	722,177	100%	114,457	100%	107,335	100%	52,941	100%	1,033	100%	2,022,242	100%	1,856	100%
	供給対象区域内	1,030	62%	666	57%	954	68%	366	70%	394	61%	31	54%	3,441	63%	65	81%
		492,938	48%	170,944	24%	41,900	37%	6,339	6%	18,642	35%	805	78%	731,568	36%	1,382	74%
	供給対象区域外	621	38%	509	43%	447	32%	155	30%	248	39%	26	46%	2,006	37%	15	19%
		531,361	52%	551,233	76%	72,557	63%	100,996	94%	34,299	65%	228	22%	1,290,674	64%	474	26%
大 阪 市 内		758	46%	526	45%	730	52%	287	55%	274	43%	24	42%	2,599	48%	56	70%
		372,494	36%	125,859	17%	29,274	26%	4,469	4%	14,961	28%	719	70%	547,776	27%	1,017	55%
大 阪 府 下		436	26%	246	21%	376	27%	138	26%	218	34%	26	46%	1,440	26%	11	14%
		243,732	24%	111,057	15%	24,651	22%	5,969	6%	8,458	16%	210	20%	394,077	19%	441	24%
	※北大阪地域	216	13%	109	9%	180	13%	56	11%	112	17%	4	7%	677	12%	5	6%
		151,402	15%	77,777	11%	9,681	8%	1,368	1%	2,273	4%	17	2%	242,518	12%	245	13%
	※東大阪地域	106	6%	78	7%	102	7%	46	9%	63	10%	20	35%	415	8%	5	6%
		43,292	4%	18,605	3%	8,048	7%	1,117	1%	2,505	5%	124	12%	73,691	4%	180	10%
	※南大阪地域	114	7%	59	5%	94	7%	36	7%	43	7%	2	4%	348	6%	1	1%
		49,038	5%	14,675	2%	6,922	6%	3,484	3%	3,680	7%	69	7%	77,868	4%	16	1%
近 畿 圏		341	21%	279	24%	255	18%	78	15%	121	19%	5	9%	1,079	20%	10	13%
		286,198	28%	275,650	38%	20,576	18%	2,087	2%	9,127	17%	49	5%	593,687	29%	281	15%
そ の 他 県		116	7%	124	11%	40	3%	18	3%	29	5%	2	4%	329	6%	3	4%
		121,875	12%	209,611	29%	39,956	35%	94,810	88%	20,395	39%	55	5%	486,702	24%	117	6%

※北大阪地域～豊中市、吹田市、摂津市、高槻市、茨木市、池田市、箕面市、豊能郡、三島郡

※東大阪地域～東大阪市、八尾市、守口市、大東市、柏原市、門真市、枚方市、寝屋川市、四條畷市、交野市

※南大阪地域～堺市、松原市、羽曳野市、藤井寺市、岸和田市、貝塚市、泉佐野市、和泉市、泉大津市、富田林市、河内長野市、高石市、泉南市、大阪狭山市、
阪南市、南河内郡、泉南郡、泉北郡

※項目ごとの四捨五入のため、合計が100%にならないことがある。また、数量等についても項目ごとの四捨五入のため、合計と一致しないことがある。

③ 地域別搬出量（東 部 市 場）

〔 上段：搬出件数及びその構成比 % 〕
〔 下段：搬出数量kg及びその構成比 % 〕

種類別 地域別		野 菜		果 実		生鮮水産物		冷凍水産物		加工水産物		合 計	
合 計		563	100%	207	100%	608	100%	464	100%	677	100%	2,519	100%
		336,162	100%	146,338	100%	50,070	100%	36,680	100%	46,211	100%	615,461	100%
	供給対象区域内	447	79%	162	78%	504	83%	364	78%	505	75%	1,982	79%
		168,795	50%	60,482	41%	32,774	65%	8,064	22%	39,239	85%	309,354	50%
	供給対象区域外	116	21%	45	22%	104	17%	100	22%	172	25%	537	21%
		167,367	50%	85,856	59%	17,296	35%	28,616	78%	6,972	15%	306,107	50%
大 阪 市 内		316	56%	120	58%	356	59%	231	50%	352	52%	1,375	55%
		114,439	34%	55,289	38%	12,359	25%	6,064	17%	22,577	49%	210,728	34%
大 阪 府 下		187	33%	68	33%	187	31%	191	41%	219	32%	852	34%
		104,066	31%	77,960	53%	28,335	57%	3,212	9%	18,015	39%	231,588	38%
	※北大阪地域	14	2%	12	6%	8	1%	9	2%	24	4%	67	3%
		28,169	8%	70,277	48%	497	1%	63	0%	1,050	2%	100,056	16%
	※東大阪地域	93	17%	32	15%	94	15%	68	15%	100	15%	387	15%
		41,087	12%	4,965	3%	18,647	37%	2,351	6%	16,163	35%	83,213	14%
	※南大阪地域	80	14%	24	12%	85	14%	114	25%	95	14%	398	16%
		34,810	10%	2,718	2%	9,191	18%	798	2%	802	2%	48,319	8%
近 畿 圏		49	9%	10	5%	50	8%	35	8%	78	12%	222	9%
		89,383	27%	3,998	3%	8,680	17%	25,992	71%	2,105	5%	130,158	21%
そ の 他 県		11	2%	9	4%	15	2%	7	2%	28	4%	70	3%
		28,274	8%	9,091	6%	696	1%	1,412	4%	3,514	8%	42,987	7%

※北大阪地域～豊中市、吹田市、摂津市、高槻市、茨木市、池田市、箕面市、豊能郡、三島郡

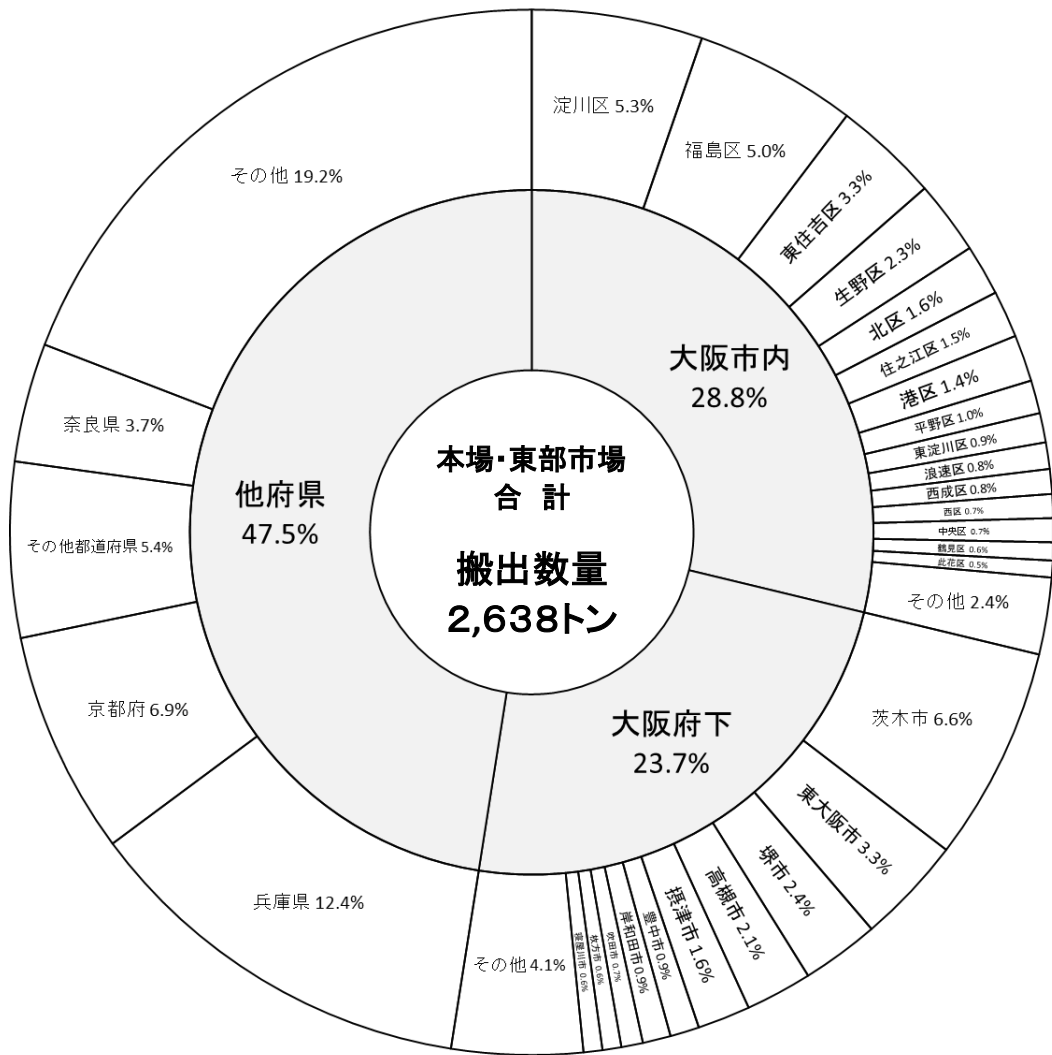
※東大阪地域～東大阪市、八尾市、守口市、大東市、柏原市、門真市、枚方市、寝屋川市、四條畷市、交野市

※南大阪地域～堺市、松原市、羽曳野市、藤井寺市、岸和田市、貝塚市、泉佐野市、和泉市、泉大津市、富田林市、河内長野市、高石市、泉南市、大阪狭山市、
阪南市、南河内郡、泉南郡、泉北郡

※項目ごとの四捨五入のため、合計が100%にならないことがある。また、数量等についても項目ごとの四捨五入のため、合計と一致しないことがある。

地域別搬出量グラフ

(乾物を除く)



令和 4 年10月14日調査

※項目別四捨五入のため内訳の計と合計が一致しない場合がある。

年次別搬出区域比率表

区分 年別	本 場			東 部 市 場		
	大 阪 市 内	大 阪 府 下	他 都 道 府 県	大 阪 市 内	大 阪 府 下	他 都 道 府 県
平成	%	%	%	%	%	%
24	27	31	42	36	37	27
29	29	25	46	44	38	18
令和						
3	31	27	42	45	31	24
4	27	19	53	34	38	28

※毎年 1 回特定の 1 日による調査結果である。
 ※項目ごとの四捨五入のため、合計が100%にならないことがある。

8 種類・業務形態別搬出割合表（令和4年10月14日調査）

（単位：％）

種類 業務形態		野 菜	果 実	生鮮水産物	冷凍水産物	加工水産物	つ け 物	合 計	乾 物
本 場	小 売 業 者	10	9	24	1	5	23	10	19
	ス ー パ ー	46	55	59	6	36	16	48	0
	加 工 業 者	6	1	4	90	11	16	9	3
	給 食 業 者	2	0	0	0	1	31	1	3
	飲 食 業 者	1	0	2	2	1	0	1	20
	そ の 他	35	34	11	1	46	14	32	55
東 部 市 場	小 売 業 者	6	7	5	2	13	—	6	—
	ス ー パ ー	51	53	77	15	51	—	52	—
	加 工 業 者	9	16	2	71	8	—	14	—
	給 食 業 者	5	0	0	1	1	—	3	—
	飲 食 業 者	1	0	4	2	1	—	1	—
	そ の 他	28	24	13	10	26	—	24	—
合 計	小 売 業 者	9	9	18	1	9	23	9	19
	ス ー パ ー	47	55	64	8	43	16	49	0
	加 工 業 者	7	3	3	85	10	16	10	3
	給 食 業 者	3	0	0	0	1	31	1	3
	飲 食 業 者	1	0	2	2	1	0	1	20
	そ の 他	33	32	12	4	37	14	30	55

※乾物は、取扱金額による割合

（東部市場は令和2年6月21日付けで加工食料品部を廃止）

※項目ごとの四捨五入のため、合計が100％にならないことがある。

9 入出場調査（24時間）

調査日：令和4年10月13日正午～10月14日正午

種 別 \ 市 場	本 場				東 部 市 場			
	入場(台)	出場(台)	滞留（ピーク時）		入場(台)	出 場 (台)	滞留（ピーク時）	
歩 行 者	3,763	3,548			1,383	1,321		
二 輪 車	3,493	3,271	1,504	14日 8時頃	1,366	1,299	523	14日 8時頃
軽 貨 物 車	2,384	2,316	583	14日 5時頃	1,042	993	160	14日 4時頃
普 通 貨 物 車	2,778	2,895	672	14日 4時頃	1,401	1,531	235	13日 14時頃
大 型 貨 物 車	1,030	986	73	13日 21時頃	394	382	14	13日 23時頃
乗 用 車	3,274	3,256	1,154	14日 6時頃	1,540	1,462	614	14日 8時頃
タクシー、バス、その他	104	102	1	13日 15時頃	6	5	2	14日 10時頃
自 動 車 合 計	9,570	9,555	2,292	14日 5時頃	4,383	4,373	824	14日 7時頃

過去入場者数（10年前・5年前・前年）

（本 場）

種 別 \ 調 査 日	歩行者 人	二輪車 台	軽 貨物車 台	普 通 貨物車 台	大 型 貨物車 台	乗用車 台	タクシー バ ス その他 台	自動車 合 計 台
24. 10. 26正午～27正午	3,259	4,072	2,871	4,108	867	3,724	120	11,690
29. 10. 20正午～21正午	4,120	3,780	2,046	4,542	820	3,742	423	11,573
3. 10. 14正午～15正午	3,039	3,409	2,879	3,445	1,152	2,929	83	10,488

（東部市場）

種 別 \ 調 査 日	歩行者 人	二輪車 台	軽 貨物車 台	普 通 貨物車 台	大 型 貨物車 台	乗用車 台	タクシー バ ス その他 台	自動車 合 計 台
24. 10. 26正午～27正午	2,258	1,632	1,694	2,306	329	1,852	32	6,213
29. 10. 20正午～21正午	1,544	1,221	1,308	1,616	648	1,842	64	5,478
3. 10. 14正午～15正午	960	939	920	1,641	345	1,072	5	3,983

南港市場

1 市場の沿革

昭和 14 年 2 月に開設していた「大阪市立と畜場」に併設して、昭和 33 年 1 月 16 日、中央卸売市場法（現「卸売市場法」）に基づき、食肉を取り扱う「中央卸売市場食肉市場」を大阪市が全国に先がけて西成区に開設しました。

その後、施設の狭あい・老朽化とともに、食肉の流通形態の大きな変化に対応するため、南港南埠頭地区への移転を決定し（昭和 56 年 11 月に着工、昭和 59 年 3 月末に完成）、名称も「南港市場」と改め、近代的で衛生的な食肉処理場などの設備を備えた緑に囲まれた市場として、昭和 59 年 4 月 2 日から装いも新たに業務を開始しました。

また、平成 8 年に O157 による大規模食中毒が国内で発生したことを受け、同年 12 月にと畜場法施行規則の一部が改正されたことに伴い、解体ラインを改良するなどの衛生対策を講じました。加えて、平成 10 年度には、せり機械の更新及び情報化機能の強化を行い市場の I T 化に努めるなど、市場機能の向上を図ってきました。

その後、平成 12 年に口蹄疫、さらに平成 13 年には B S E（牛海綿状脳症）が相次いで国内で発生し、ハード・ソフト両面にわたって、さらに厳しく徹底した衛生対策を講じてきました。特に B S E 発生後は、関係業界と一体となって食肉の安全確保に取り組み、平成 22 年に再び口蹄疫が国内で発生した際にも、関係業界とともに徹底した防疫対策を講じるなど、消費者に対して常に安全かつ安心な食肉を提供できるよう、積極的な市場運営を進めています。

また、南港移転後の施設の狭あい・老朽化とともに、食肉流通にかかる H A C C P 等、衛生水準の向上に対応するため、平成 27 年 1 月に「南港市場将来戦略プラン」を策定し、令和 3 年 2 月より、南港市場施設整備工事に着手し、令和 7 年度事業完了をめざして施設整備事業を進めています。

2 市場の施設

位 置	大阪市住之江区南港南 5 丁目 2 番 4 8 号		
面 積	敷 地	100,079 m ²	
	建面積	21,345 m ²	延面積 31,140 m ²

3 取扱品目

肉類（鳥肉を除く）及びその加工品

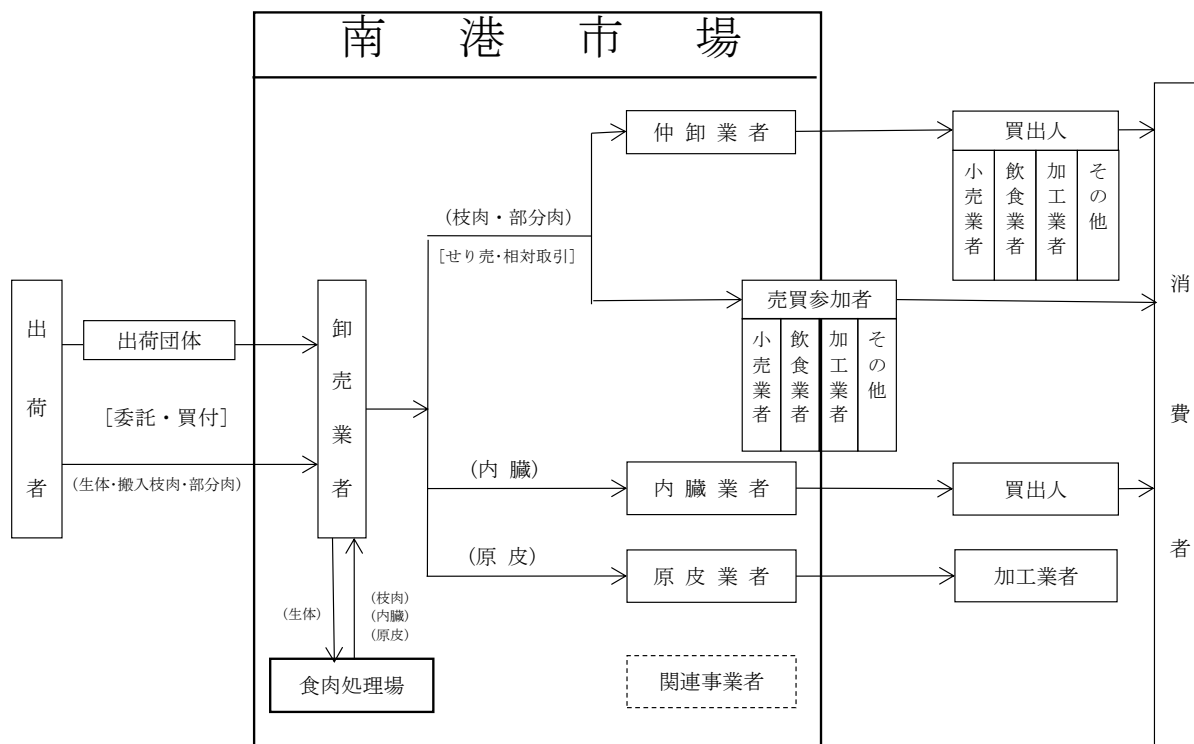
4 市場の機構

市場の機構及び業務運営は、すべて卸売市場法、同法施行規則、大阪市中心卸売市場業務条例、同条例南港市場施行規則及びと畜場法、大阪市食肉処理場条例、同条例施行規則に基づいています。市場機構の主たるものは次のとおりです。

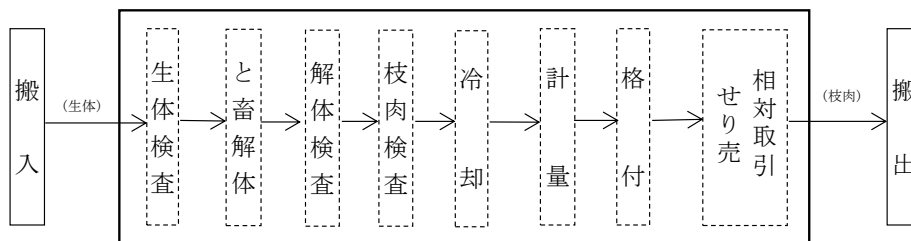
なお、開設者は大阪市内で、市場施設の維持管理と業務運営の指導監督にあたっています。

- (1) **卸売業者** 市長の許可を受け、出荷者から生鮮食料品等の販売の委託を受け又は買い受けて、せり売、入札又は相対取引によって仲卸業者及び売買参加者等に販売する者。
- (2) **仲卸業者** 市長の認定を受けて、市場内に設置する店舗において、卸売業者から卸売を受けた生鮮食料品等を仕分けし、または調製して小売業商、その他の買出人に販売する者。
- (3) **売買参加者** 仲卸業者でない者で、市長の認定により、せり又は入札に参加して卸売業者から卸売を受けることができ、直接消費者に販売することを業務とする大口需要者等。
- (4) **関連事業者** 市長の承認を受けて、市場において市場機能の充実に資する業務または市場の利用者に便益を提供する業務を市場内において行う者。現在承認している者は、4 業者。
- (5) **関係機関**
 - ①格付機関
公益社団法人日本食肉格付協会が市長の指定を受けて市場で取引される枝肉の格付を行います。
 - ②検査機関
と畜場法に基づいて、大阪市（健康局）が食肉の衛生検査を行います。

(6) 取引の経路



(生体搬入から枝肉搬出まで)



(7) 卸売業者数、仲卸業者数及び売買参加者数

(令和5年4月1日現在)

業者	卸売業者	仲卸業者	売買参加者
食肉	1	20	117

5 取扱数量及び金額

(1) 令和4年中と畜頭数(作業日数241日)

種 類 別	1日平均	1年間
牛	85	20,466
馬	－	－
豚	193	46,535
子 牛	0	(7)
子 馬	－	－
羊	－	－
合 計	278	67,001

※子牛は牛の内数

(2) 令和4年中取扱高(開場日数241日)

種 類 別		1日平均		1年間	
		数 量	金 額	数 量	金 額
成 牛	枝 肉	42.6 ^{トン}	82,310 ^{千円}	10,255 ^{トン}	19,836,674 ^{千円}
	国内産部分肉	－	－	－	－
	輸入部分肉	－	－	－	－
豚	枝 肉	16.6	7,358	4,006	1,773,211
	国内産部分肉	－	－	－	－
	輸入部分肉	－	－	－	－
子 牛		0.0	1	0	247
馬 その他		－	－	－	－
合 計		59.2	89,669	14,262	21,610,131

※項目別四捨五入のため合計と合致しないことがある。

(3) 令和4年中産地別取扱頭数(枝肉)

種類別 順位	成 牛								
	和 牛			交 雑 牛			乳 牛		
	産 地	頭 数	前年比	産 地	頭 数	前年比	産 地	頭 数	前年比
1	熊 本	1,392	94.2%	愛 知	2,280	106.0%	大 阪	72	72.7%
2	鹿児島	1,333	96.7	徳 島	1,570	99.6	兵 庫	49	39.5
3	佐 賀	1,220	83.8	静 岡	997	104.9	徳 島	48	90.6
4	宮 崎	882	119.0	愛 媛	853	88.8	鳥 取	44	141.9
5	徳 島	736	101.1	長 崎	828	600.0	長 野	38	58.5
6	長 崎	472	85.2	熊 本	774	182.5	北海道	26	83.9
7	大 分	460	81.0	北海道	735	100.1	和歌山	14	43.8
8	岡 山	424	113.1	鳥 取	580	107.6	奈 良	5	35.7
9	長 野	398	100.8	岡 山	403	116.1	島 根	4	30.8
10	和歌山	368	98.1	兵 庫	401	83.5	静 岡	2	-
その他19県		1,754	93.4	その他13県	1,280	98.2	その他2県	3	10.7
合 計		9,439	95.1	合 計	10,701	111.4	合 計	305	62.2
							成牛合計	20,445	102.1

種類別 順位	豚		
	産 地	頭 数	前年比
1	岡 山	12,788	146.3%
2	京 都	5,270	182.3
3	兵 庫	5,116	105.8
4	広 島	3,829	47.6
5	鳥 取	3,629	173.1
6	三 重	3,256	67.6
7	奈 良	3,204	90.6
8	愛 媛	2,682	96.7
9	和歌山	2,537	91.1
10	大 阪	2,361	75.1
その他4県		1,766	85.3
豚合計		46,438	101.5

6 年次別取扱高

頭数：頭
 単位 重量：トン
 金額：千円

畜 種			年別 区分	平成30年	令和元年	令和2年	令和3年	令和4年
成 牛	枝 肉	和 牛	頭 数	9,074	9,087	10,591	9,925	9,439
			重 量	4,382	4,426	5,214	4,859	4,644
			金 額	11,162,330	10,953,443	11,362,843	12,303,714	11,361,993
		交雑牛	頭 数	12,263	10,663	9,447	9,604	10,701
			重 量	6,187	5,338	4,809	4,903	5,502
			金 額	9,366,687	8,730,817	6,881,813	7,757,328	8,394,014
		乳 牛	頭 数	614	727	473	490	305
			重 量	224	259	176	181	108
			金 額	188,581	201,160	127,785	144,332	80,666
	部 分 肉	外国牛	頭 数	-	-	-	-	-
			重 量	-	-	-	-	-
			金 額	-	-	-	-	-
		計	頭 数	21,951	20,477	20,511	20,019	20,445
			重 量	10,793	10,023	10,199	9,942	10,255
			金 額	20,717,598	19,885,420	18,372,441	20,205,374	19,836,674
		国 産	頭 数	-	-	-	-	-
			重 量	-	-	-	-	-
			金 額	-	-	-	-	-
		輸 入	頭 数	-	-	-	-	-
			重 量	-	-	-	-	-
			金 額	-	-	-	-	-
	計	計	頭 数	-	-	-	-	-
			重 量	-	-	-	-	-
			金 額	-	-	-	-	-
	合 計	合 計	頭 数	21,951	20,477	20,511	20,019	20,445
			重 量	10,793	10,023	10,199	9,942	10,255
			金 額	20,717,598	19,885,420	18,372,441	20,205,374	19,836,674
豚	枝 肉	枝 肉	頭 数	55,086	50,471	45,343	45,733	46,438
			重 量	4,763	4,416	4,004	4,042	4,007
			金 額	2,035,414	1,938,459	1,835,044	1,725,792	1,773,211
	部 分 肉	国 産	頭 数	-	-	-	-	-
			重 量	-	-	-	-	-
			金 額	-	-	-	-	-
		輸 入	頭 数	-	-	-	-	-
			重 量	-	-	-	-	-
			金 額	-	-	-	-	-
		計	頭 数	-	-	-	-	-
			重 量	-	-	-	-	-
			金 額	-	-	-	-	-
	合 計	合 計	頭 数	55,086	50,471	45,343	45,733	46,438
			重 量	4,763	4,416	4,004	4,042	4,007
			金 額	2,035,414	1,938,459	1,835,044	1,725,792	1,773,211
	その他	その他	頭 数	3	12	3	3	7
			重 量	0	2	0	0	1
			金 額	121	883	113	184	247
総 計	総 計	総 計	頭 数	77,040	70,960	65,857	65,755	66,890
			重 量	15,556	14,441	14,203	13,984	14,262
			金 額	22,753,133	21,824,763	20,207,598	21,931,350	21,610,131

※項目別四捨五入のため合計と合致しないことがある。

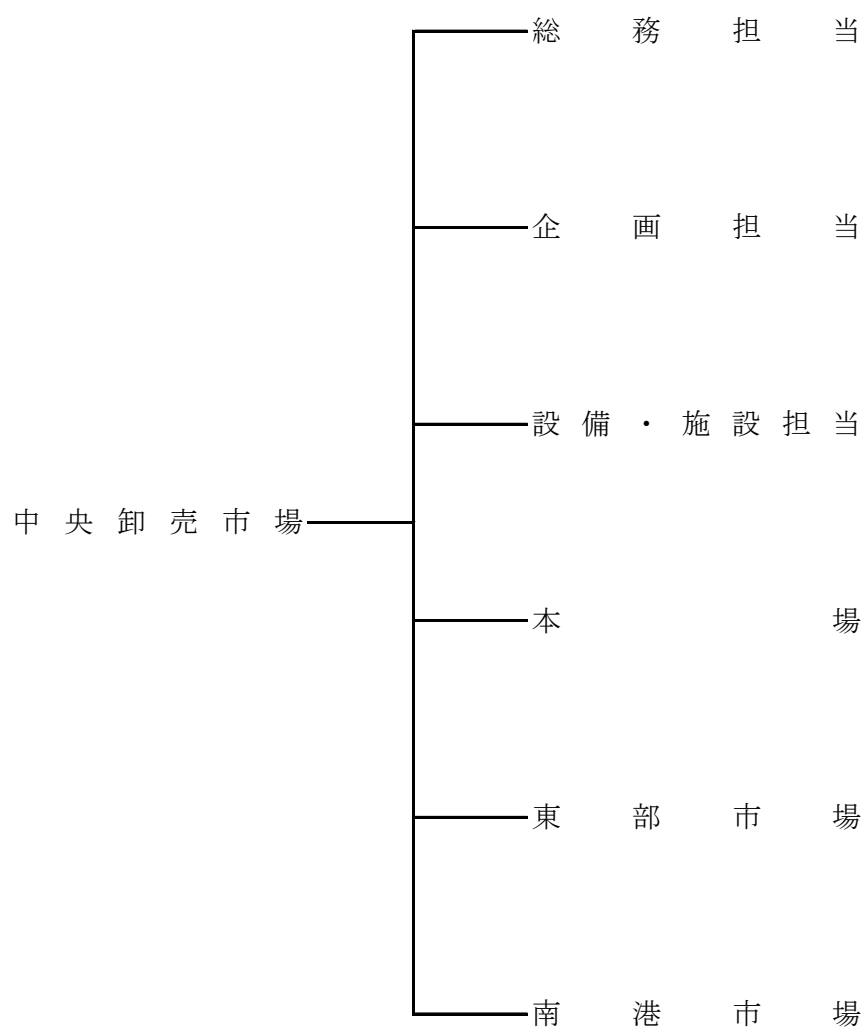
7 入出場調査

(令和4年11月24日正午～25日正午調)

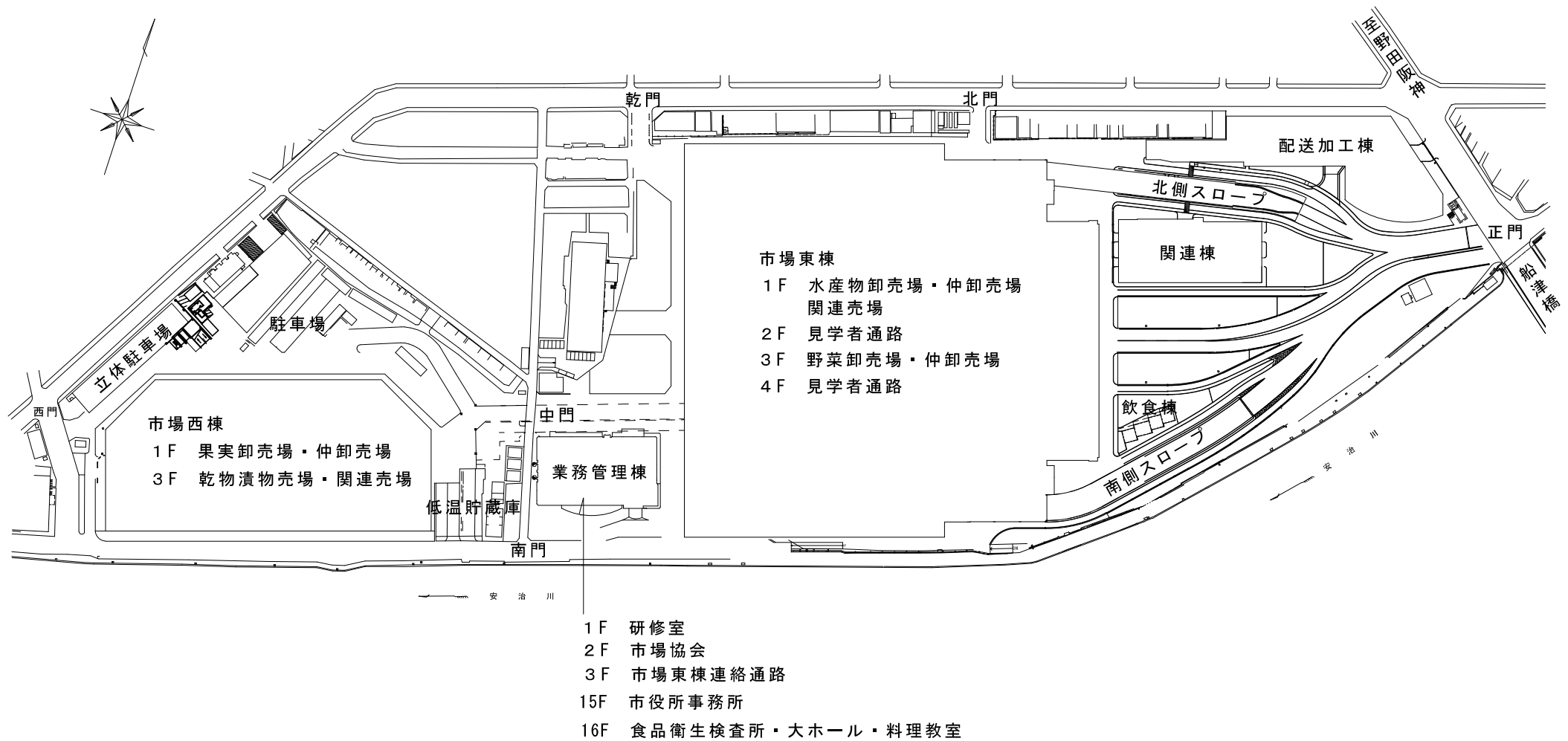
種別 \ 区分			入 出 場	
自 動 車			入 場	出 場
	乗用車		267 (22)	203 (10)
	二輪車		27 (0)	23 (0)
	貨物車	大型	15 (0)	13 (0)
		中型	17 (0)	21 (1)
		小型	14 (2)	20 (0)
	保冷車	大型	17 (0)	14 (4)
		中型	37 (4)	34 (3)
		小型	39 (4)	25 (1)
自動車合計		433 (32)	353 (19)	
入出場者			入 場	出 場
	自動車		465	372
	歩行者（送迎バス含む）		232	222
入出場者合計			697	594

() は同乗者数

市場の事務機構

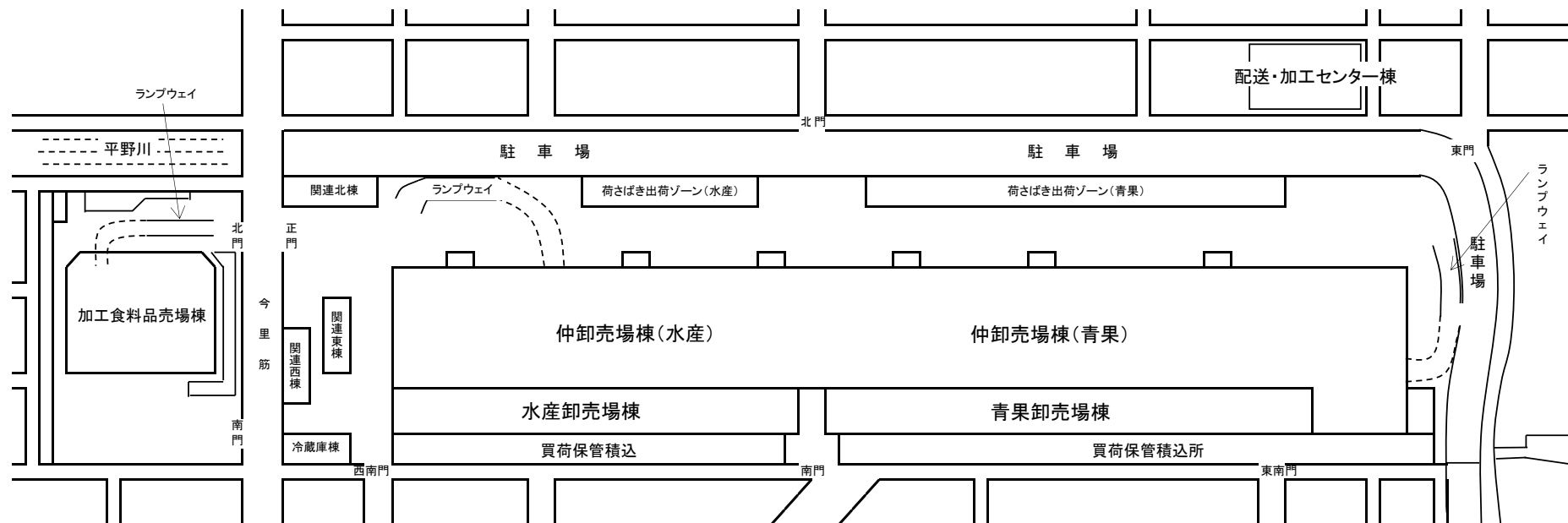


中央卸売市場本場平面図

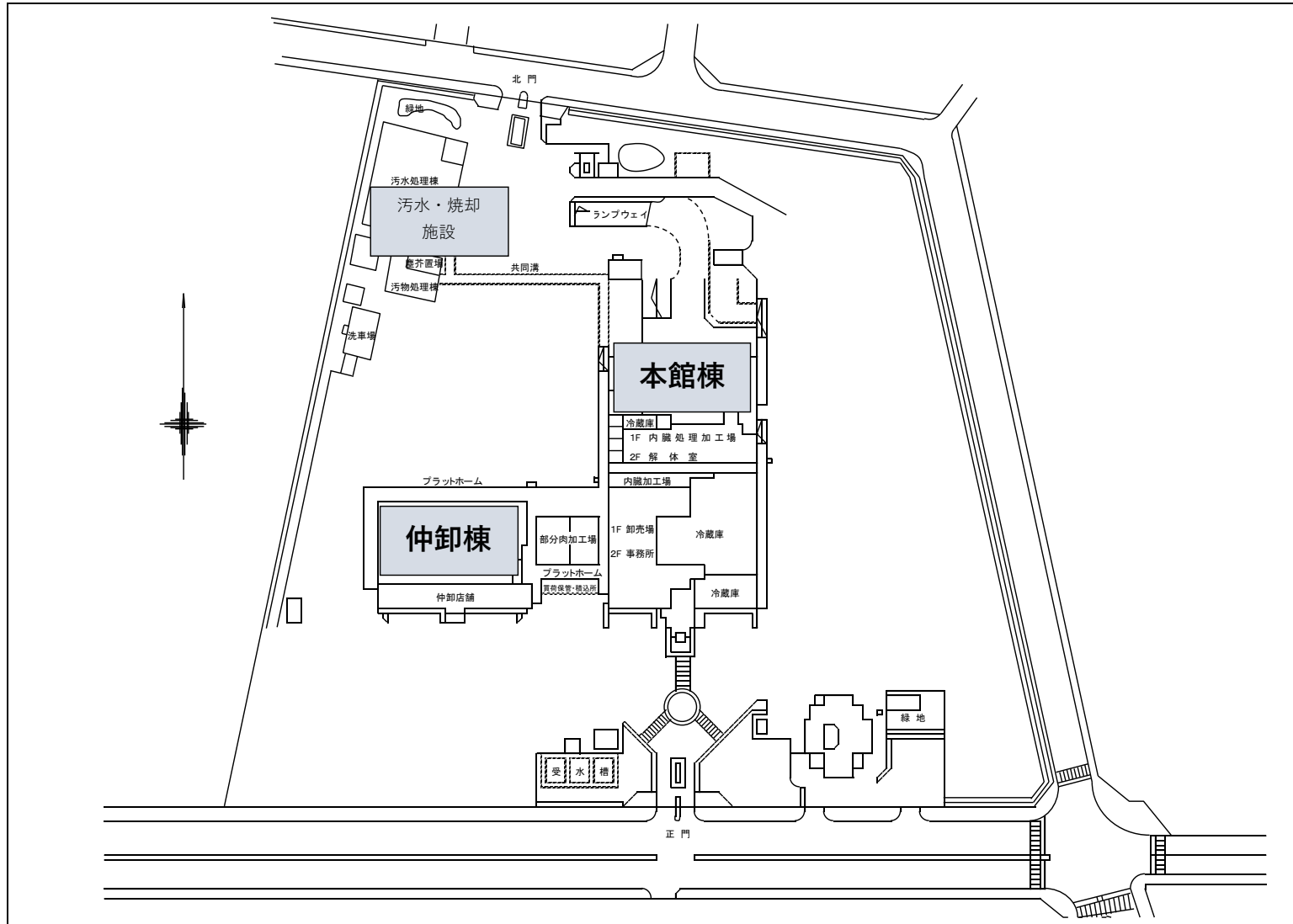




中央卸売市場東部市場平面図



中央卸売市場南港市場平面図



市場の年表

本場・東部市場	年 代	南港市場
中央卸売市場法公布 本場開設の認可 本場建設に着手 本場完成 11月11日業務開始	明治39年 明治42年 明治43年 大正12年 大正14年 昭和4年 昭和6年 昭和11年	と場法公布 村営と場開設（西成郡今宮村） 家畜市場法公布 大阪市立と場開設（現大正区） 中央卸売市場法公布 今宮と場を本市が継承し大阪市立今宮と場と改称
物資統制令公布、仲買制度廃止 天満分場（北区）開場[同20年廃止] 木津分場（浪速区）開場[同20年廃止] 南部分場（住吉区）開場[昭和46年廃止] 北部分場（西淀川区）開場[同19年廃止] 東部分場（東住吉区）開場[同21年休止]	昭和13年 昭和14年 昭和16年 昭和17年 昭和18年	大阪市立家畜市場開設（西成区松通） 大阪市立と場建設に着手 大阪市立家畜市場移転（西成区津守） 大阪市立と場開設（2と場合併）
仲買制度及びせり取引開始	昭和24年 昭和25年 昭和28年	家畜市場法廃止 と場法廃止、と畜場法公布 大阪市立と畜場と改称 大阪市立家畜市場閉鎖 中央卸売市場食肉市場開設（全国で最初）
東部市場建設に着手 日曜週休制実施 東部市場開設の認可 東部市場完成 11月25日業務開始 中央卸売市場法廃止、卸売市場法公布	昭和32年 昭和33年 昭和35年 昭和39年	
祝祭日休市実施 本場拡張施設工事に着手 本場拡張施設業務開始 東部市場拡張施設工事に着手 東部市場拡張施設業務開始 東部市場施設改築工事に着手 東部市場施設改築工事完成	昭和46年 昭和47年 昭和50年 昭和51年 昭和52年 昭和53年 昭和56年 昭和59年	中央卸売市場法廃止、卸売市場法公布 豚肉、豚生体、牛生体の輸入自由化 南港市場建設に着手 大阪市立と畜場、大阪市中央卸売市場食肉市場での業務を廃止（西成区津守） 南港市場完成 4月2日業務開始
本場・東部市場の鉄道貨物引込線廃止 本場整備事業に着手	昭和60年 平成2年 平成3年 平成4年 平成8年 平成11年	牛肉の輸入自由化
本場業務管理棟完成 本場市場棟（第1期）完成 本場市場棟（第2期）完成 卸売市場法改正（公布・施行） 東部市場配送・加工センター完成 本場市場棟（第3期）・関連棟完成 卸売市場法改正（公布・施行） 本場配送加工棟完成 東部市場再整備工事に着手 東部市場青果卸売場棟（第1期）完成 東部市場冷蔵庫棟完成 東部市場関連棟（西棟・東棟）完成 東部市場青果卸売場棟（第2期）完成 東部市場大屋根完成 東部市場水産卸売場全面低温化完成 東部市場荷さばき出荷ゾーン完成 卸売市場法改正（公布） 卸売市場法改正（施行）	平成12年 平成14年 平成16年 平成20年 平成22年 平成23年 平成24年 平成30年 令和2年 令和3年	卸売市場法改正（公布・施行） 卸売市場法改正（公布・施行） 卸売市場法改正（公布） 卸売市場法改正（施行） 南港市場施設整備工事に着手